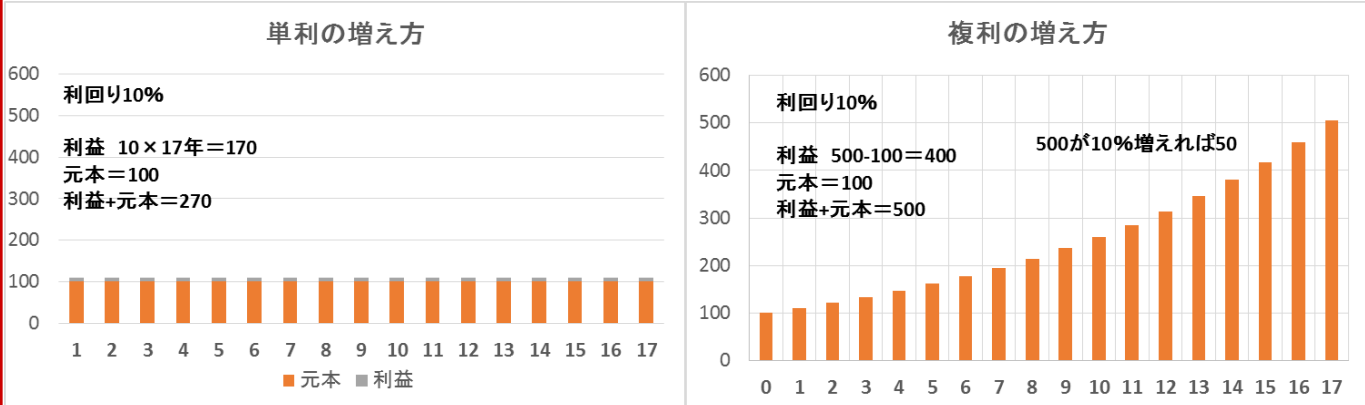


ATTENTION

複利効果とは、こういうものだ！



よく資産運用は、複利効果を生かせといひます。実際に、世界最高の投資家ウォーレン・バフェットは、早くから複利効果を最大限発揮する運用を意識してきたといわれています。しかしながら、感覚的にわかっても、実際にそれを実行に移すかという、多くの人はそうやっていません。数字として見てみると、その効果ははっきりとわかります。この2つのグラフの左のグラフは、単利すなわち多くの人がやっているように、1年で利益を確定するやり方。利回り10%を確定できれば、多くの人は「御の字」と思うでしょう。そしてそれが毎年17年続けば、大変なことと感じるでしょう。その利益の合計は元本100として170。元本は変わらず100です。そして残念ながらこの170は、使ってしまうというリスクを負っています。また毎年10%取れるとは限りません。さてこの元本100を10%複利で回すとどうなるか、17年後には元本が500になります。その間の利益の合計は400。単利170、複利400と大きな違いとなりました。しかもこちらは丸まる残っています。これが複利なのです。そこから、単利では100が10%増えると、いまだ10増えますが、複利では、この500が10%増えれば50増えるということになります。そしてそれから毎年増える額は大きくなります。いかがですか。恐ろしい違いですね。資産運用の秘訣は、今の楽しみより、後の幸せということですよ。

OPINION

検察のゴーン逮捕

ゴーン逮捕は、青天の霹靂で、日本中があっと驚きました。日産が経営危機に陥ったとき、仏ルノーから送り込まれたゴーンは日産リバイバルプランを発表、「他に選択肢はありません」と日本語で強調したことは記憶に新しいです。まさに低迷する日本経済の救世主というような存在でした。そして日産を急速に立ち直らせ、三菱自動車もグループに入れ、今では世界第3位の自動車メーカーとなっています。この事件は、救世主だった人物を、健康体になり、ルノーが邪魔な存在になったとき、日産が検察に持ち込んだものですが、「恩を仇で返した」とゴーンが思っているであろうことは想像に難くありません。

さてこの人物が、役員報酬未記載、巨額の不正支出の罪で逮捕され、東京拘置所に108日勾留されたことに、内外から驚きの声が上がっています。これは自白強要のため拷問しているようなもので、人権無視と海外から批難されています。まさにそう見えて、あらためて日本の司法の後進性が浮き彫りになります。検察のこれまでの立件への動きを見ると、どうも事件を作っているという印象を否めません。今回の立件も、東京地検特捜部に最近めぼしい事件がなく、新たに導入した司法取引を組み入れた事件作りという印象をぬぐえません。

2010年には検察の捜査資料の改ざん事件があり、検察改革が求められましたが、めぼしい成果はないままです。検察の体制改革はむずかしいものですが、ポピュリズム的な捜査、マスコミを使った情報操作の疑いなど、国民はよくよく検察の捜査、立件の動きは注視しなければいけないでしょう。果たしてゴーン立件がうまく行くのか、弁護側の対応も含めて、今後の動きは注目です。

MARKET

	(3月末)	(2月末比)
日経平均	21,205.81円	-179.35円 (-0.84%)
NYダウ	25,928.68ドル	+12.68ドル (+0.05%)
米ドル	110.85円	-0.60円 (-0.54%)

今月の言葉:

人間精神はきわめて多くのものを知覚するのに適する。
そしてこの適性は、その身体がより多くの仕方で影響されうるに従ってそれだけ大である。(定理14)
-エチカ(スピノザ)

人生100年時代、老後の生活をいかに過ごすべきか

65歳で定年を迎えるとすると、人生100年時代、その後の老後の生活は35年です。これは長いです。この時間をいかに過ごすべきか。米国の最近の研究*を元に紹介しましょう。

調査対象は60歳以上、平均年齢71歳のゆとり層です。彼らの日常生活で費やす11時間のうち、現状は1日3時間TVを見ていて、2.8時間は家にいて、半分以上の時間が費やされているが、これらは幸せ度が最も低い過ごし方とのこと。一方でウォーキング・運動にはほんの0.3時間、つき合いや交流に0.7時間、仕事やボランティアに1.4時間と、最も幸せ度が高い過ごし方に、割く時間が大変少ないというのです。

退職するときには、もう働きたくない、家でゆっくりしたい、TVでも見てのんびりしたいと望んで退職するが、しばらくすると、あまりにも暇すぎて孤独感、寂寥感、さらには抑うつ感覚にもなってくるといいます。そしてこの精神状態は、喫煙や肥満より、健康面で負の影響が大きいというのです。認知機能の低下、高血圧、糖尿病まで引き起こし、本来より早死するという見方もあります。

そして注目すべきは、幸せ度を高めるにはお金はかからないということです。ウォーキングは家の周りを歩く、公共施設で運動すればほとんどお金はかかりません。仕事やボランティアに至っては、パートタイムで働けばお金は入ってきて資産は長持ち、ボランティアをしていれば家の近隣を掃除すれば感謝される、地域の消防・防犯活動でグループで見回りすれば、張り合いも出て仲間の輪は広がります。こういった活動から、ネットワーク・つき合いも広がります。

また地方自治体では、さまざまなセミナー、グループ勉強会、大学と連携の社会人講座などがあり、お金をかけずに知識・教養を深めることは十分可能です。そして、同じ目標をもつ人と知り合えるという副次効果もあります。

テレビは、自分が主体的になれず、コマーシャルは入る、番組は選びますが見るときは受身。長時間見ていると、徒労感や倦怠感が漂います。家に1日いれば、夫婦で顔を合わせて変化なく、何か言えばこういうで、すぐめごとにもなってしまいます。パソコンで一日じゅう株取引ともなれば、夫婦関係にも影響します。夫婦で青空の下でウォーキングとは、風景がずいぶん違います。

この研究によれば、幸せ度が高い過ごし方は、つき合い・交際・交流、次にウォーキングや運動、そして仕事・ボランティア。テレビを見る、家にいるは、幸せ度が最も低いのです。そして幸せ度が高い過ごし方のうち、1日での程度時間を割くといいかというと、60歳以上の最適配分は、日常生活12時間のうち、つき合いや交流に現状の2.7時間から4.9時間を割り当て、仕事やボランティアに70歳・80歳以上を含め、現状の0.9時間から5時間を充てるべきというのです。

そして幸せ度が低いテレビは2.2時間から0.2時間、家にいるのはなんと0時間であるべきとのこと！ 老後は「テレビは見ないで、外に出る！」ということです。それが精神面・肉体面でもっとも望ましい老後の過ごし方なのです。

*Time Allocations and Self-Reported Happiness of Retirees

OUR SERVICE

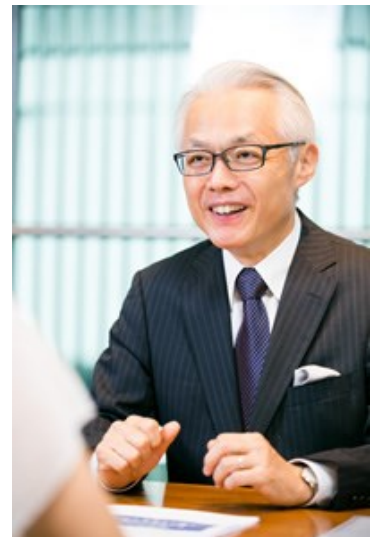
まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売しやすい商品売るのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072
電子メール：info@bfsc.jp